



令和7年度 須賀川市立白方小学校グランドデザイン

- 第7次福島県総合教育計画～学びの変革推進プラン
- 県中教育事務所 学校教育指導の重点
～「ゆめ」「願い」がかなう教育の推進
- 須賀川市教育委員会 学校教育目標
～変化の大きい社会に的確に対応できる「生きぬく力」を育む

教育目標

夢や希望に向かってともに高め合い、
幸せをつむぎ合う白方の子どもの育成

保護者・地域の学校への願い

- 思いやりのある子に育ててほしい。
- 学力のある子に育ててほしい。
- 自分の考えをもって行動できるように育ててほしい。
- 地域の方々との温かい交流の場を大切にしてほしい。

- 子どもが楽しいと実感する学校
- 保護者が通わせたいと願う学校
- 地域住民が大切にしたいと思う学校
- 教職員が協働的に力を発揮し合う学校

仲間とともにいきいきと学ぶ子ども

目指す学校の姿

目標
だれにでも心優しく温かい子ども

励まし合いながらやりぬく子ども

- ① 「協同的な学び」を積極的に取り入れ、具現化を図る。
- ② 「白方学」（総合的な学習、生活科）を意図的計画的に推進する。

- ① 道徳科「B 主として人との関わりに関すること」の指導の充実を通して、他者を思いやる豊かな心の育成を図る。
- ② 学級活動（1）の指導の充実を通して、互いに尊重し、よさを認め合う子どもの育成を目指す。

- ① 日々の健康指導を通して、自己のめあてをもち、進んで運動する子どもの育成を図る。
- ② 児童の健康課題を適時把握し、心と体をより健やかに保つための指導を組織的に展開する。

特色ある学校づくり

（1）保護者・地域に開かれた学校づくり

地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりの一体化を目指し、保護者・地域と連携・協力した実りある教育活動を展開する。

（2）小中一貫教育と幼小連携の積極的な展開

岩瀬中学校区小中一貫教育グランドデザイン並びに白方架け橋期プログラムをもとに、子どもの発達・特性に応じた切れ目のない教育活動を展開する。

（3）ユネスコスクールとしての取組

ESDの視点に立った学習指導を継続し、「児童が自らの手で自己の人生を切り拓き、豊かで持続可能な社会のつくり手」となることができる基礎的・汎用的な力を育てる。